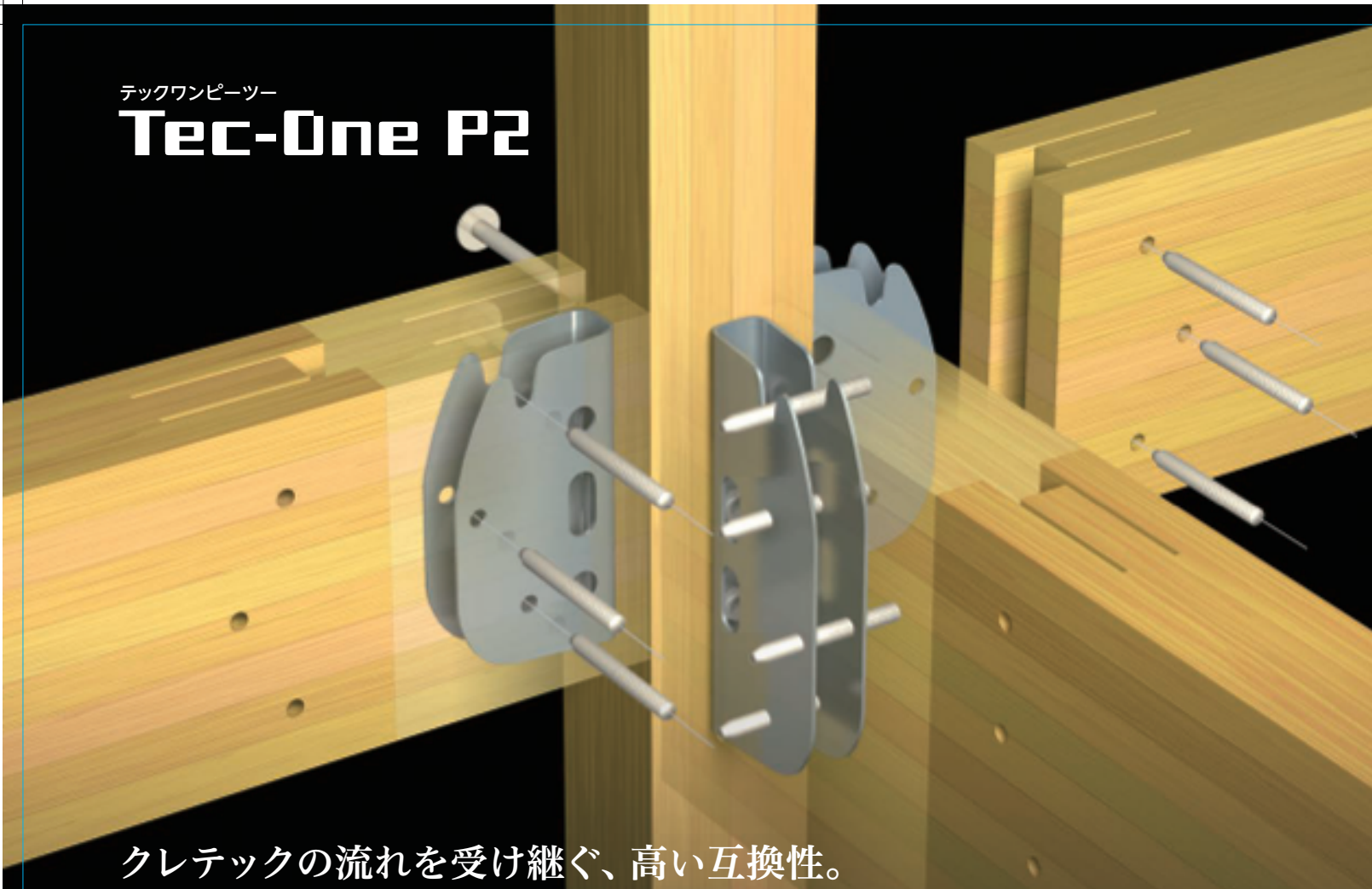


テックワンピーツ

Tec-One P2



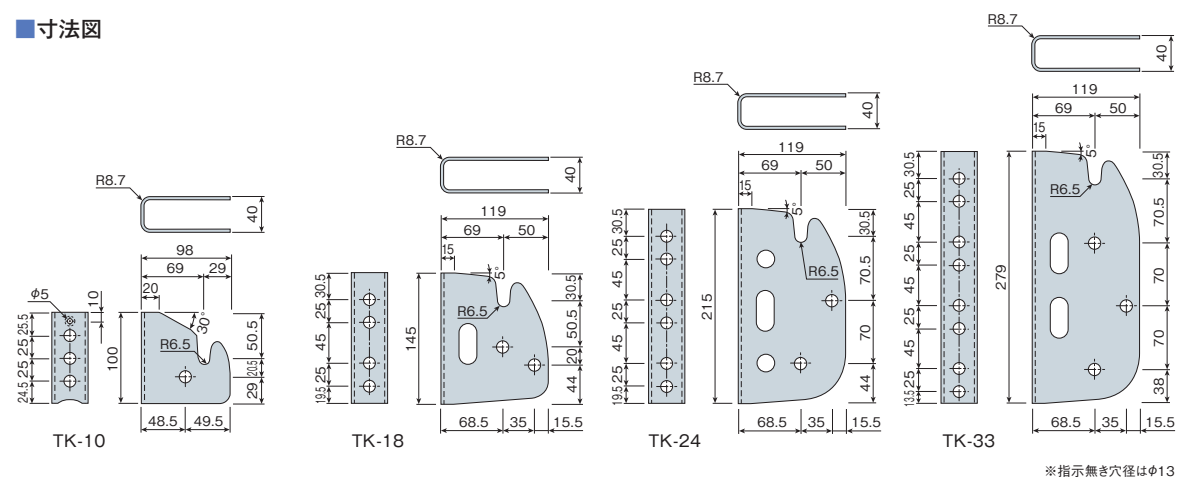
クレテックの流れを受け継ぐ、高い互換性。

木造建築の主流であった在来軸組工法に一石を投じ、一躍全国各地から注目を集めるようになった「クレテック」。その長所を生かし改良を加えた「テックワンP2」は、コンパクトで使いやすいことは勿論、安全で施工時間を大幅に短縮するとして、大変高い評価を得ています。しかも、クレテックと同じ加工寸法を継承しているため、互換性は抜群。新溶融めっき鋼板を採用しているから、厳しい環境下でも優れた耐食性を発揮します。



TK-10 対応梁成：105～150mm
TK-18 対応梁成：180～210mm
TK-24 対応梁成：240～300mm
TK-33 対応梁成：300～420mm

■寸法図



Tec-One アゴ掛金具 (テックワン P2) TK

新溶融めっき鋼板を採用し、厳しい環境下でも優れた耐食性を発揮します

用途

●構造部材(柱材や横架材など)を接合する際に使用します。

特長

- ボルトとドリフトピンによる単純な組み合わせで、強い架構が実現可能です。
- 角部には丸みをつけて安全性に配慮しています。
- 背板の折り曲げをR処理する事でボルト締め過ぎによる金物変形を少なくしています。
- 金具出幅が100mmとコンパクトになっています。

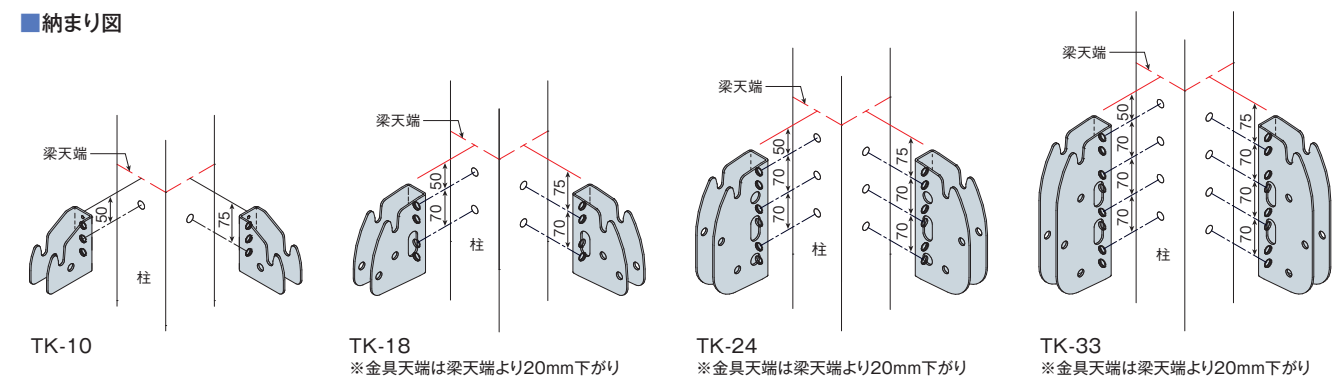
施工方法

- ①ボルトにて柱材や横架材に金具を取り付けます。
 - ②横架材の仕口には予め所定の位置にドリフトピンを打ち込んでおきます。(先行打ちピン)※1
 - ③横架材を落とし込んだ後、残りのドリフトピンを打ち込んで固定します。(後打ちピン)
- ※1 先行ピンを正しく打ち込む事により、横架材を落とし込む際の落下防止になります。

告示第1460号第二号表三(テックワンP2)

告示表3	N 値	柱・横架材(スプルス集成材)			
		TK-10	TK-18	TK-24	TK-33
(い)	0	○			
(ろ)	0.65				
(は)	1.0				
(に)	1.4		○		
(ほ)	1.6			○	
(へ)	1.8	×			○
(と)	2.8				
(ち)	3.7		×		
(り)	4.7				
(ぬ)	5.6			×	

■納まり図



サイズ	TK-10: 98×40×100mm	TK-18: 119×40×145mm	TK-24: 119×40×215mm	TK-33: 119×40×279mm
表面処理	新溶融めっき			
梱包	TK-10: 30個/ケース	TK-18: 20個/ケース	TK-24: 12個/ケース	TK-33: 10個/ケース

使用接合具	TK-10	TK-18	TK-24	TK-33	
柱側	M12 中ボルト(別売品)	1本	2本	3本	4本
横架材側	ドリフトピン(別売品)	2本	3本	3本	4本

耐力	TK-10	TK-18	TK-24	TK-33
短期許容せん断接合耐力(kN)	10.2	20.5	33.3	42.0
短期許容(逆)せん断接合耐力(kN)	4.1	18.8	26.1	36.0
短期基準引張接合耐力(kN)	11.3	26.7	31.4	40.7
存在接合部倍率(引張耐力÷5.3kN)	2.1	5.0	5.9	7.6

表中の数値は(一財)建材試験センター試験データによる。
※試験時の使用木材
柱材/寸法: 105×105 樹種: スプルス同一等級構造用集成材 E95-F315
横架材/寸法: 105×105~330 樹種: スプルス対称異等級構造用集成材 E105-F300
基準耐力を1とした場合、短期2.0、中短期1.6、中長期1.43、長期1.1